

令和5(2023)年度 住まいとコミュニティづくり活動助成 活動中間報告

団体名

東新会

活動のテーマ

多様性を持ち希望をつくり成長するコミュニティづくり

9月までに達成できた事項(箇条書き)

① 歴史的建造物保全再生活用

建物調査及び価値調査。活用に向けて不用品処分片付け、修復作業ワークショップ実施。

- ・ヘリテージマネージャーや建築士の協力で建物詳細調査実施。
- ・調査を基に図面作成及び保全活用についてのワークショップ実施。
- ・国登録有形文化財登録に向けての価値位置づけ調査実施。
- ・修復作業ワークショップ実施。
一般や地元高校生等と共同で建物修理、内壁塗装作業実施。
- ・DIYワークショップによるイベント展示関係及び運営用備品づくり。
- ・活用予定建物の運営等について協議開始。

② 壁画プロジェクト

- ・壁画制作に向けて、地元芸術家や高校生と壁画構図等について協議。
- ・体験用壁画面の下地処理作業終了。
- ・壁画体験ワークショップイベントを開催。
大学教授、広島市立大学芸術学部の教授、学生の指導により一般や大学地元高校生と壁画制作。

今後の活動予定と令和6年3月末時点の達成予定事項

- ・歴史的建造物改修工事は10月末の完成を目標としている。
- ・10月中旬に簡易宿泊施設（ゲストハウス）としての営業許可と飲食店開業のため飲食業許可を申請する。
- ・国登録有形文化財に向けて10月中旬～11月中旬に文化庁視察予定。
- ・再生した施設を、試験的に活用するため11月初旬に公開イベント開催。
- ・体験用壁画面は、地元芸術家と地元高校と制作に向けて協議を進めながら構図を制作し制作に着手する。11月初旬の施設公開イベント時に一般を対象に壁画制作体験会を実施する。
- ・体験用壁画面は段階的に描いていく。（企業の壁画面は2024年3月完成予定）
- ・建物施設の本格的な運営に向けて、所有者、会、地元住民、他団体と協議を進め運営体制を立ち上げる。

令和5(2023)年度 住まいとコミュニティづくり活動助成 活動中間報告

—団体名：東新会—

—活動のテーマ：多様性を持ち希望をつくり成長するコミュニティづくり—

—助成対象活動に至った理由や背景—

- ・中山間地域では、ご多分に漏れず、高齢化や人口減少による「まちやコミュニティ」の衰退が著しい。若者もコミュニティの維持活動やまちづくりに携わることなども興味を持たなくなっている。昨年来より、都市部の芸術系のある大学と、地域の資源を活用した活動を協同で取り組む提案をした。テーマを、地域住民と都市部の若者との多世代交流。若者の発想を活かす歴史的建造物の保全再生活用。アートによる地域コミュニティのエリアリノベーションとして、地域にある、歴史的建造物の保全再生活用により多様性が融合できる地域コミュニティの場として再生。地域の無機質な壁に壁画を描くプロジェクトも進め、アートで、街並みを彩るエリアリノベーションを進めることとした。

—9月までの活動進捗状況—

① 歴史的建造物保全再生活用について

- ・ヘリテージマネージャーや建築士の協力で建物詳細調査及び図面作成及び保全活用についてのワークショップ実施。国登録有形文化財登録に向けての価値位置づけ等に取り組み、一般や地元高校生等とワークショップによる建物修理や内壁塗装等建物修復作業実施した。

また活用に向けてDIYワークショップによるイベント展示関係用備品づくりも行った。



掃除・片付け



ヘリテージマネージャー調査



体験作業ワークショップ



② 壁画プロジェクト

- ・地域のエリアリノベーションを進めるため、体験用壁画面の整備着手をするため、都市部の芸術系大学と連携し地元芸術家や高校生と壁画制作について構想を進めている。

手段として、地域住民や地元芸術家、地元高校生と協力者も参加して、企業が制作している壁画制作現場にて専門家の指導を受けながら壁画の手法や構図を学ぶワークショップ開催した。



体験用壁画 水洗い下地塗り



大学関係者建物活用下見



壁画作業体験ワークショップ

—今後の活動予定—

- ① 歴史的建造物改修工事は10月末の完成を目指している。活用として、簡易宿泊施設（ゲストハウス）としての営業許可と飲食店開業のため飲食業許可も申請します。
また、国登録有形文化財に向けて10月中旬以降か11月中旬に文化庁視察予定がある。
施設は、11月より試験的に活用するため公開イベントを開催します。
- ② 壁画プロジェクトは、地元芸術家と一般及び地元住民、高校生対象の体験用壁画は制作に向けて協議を進め構図を制作し壁画制作に着手します。11月に構図を描き一般を対象に壁画制作体験会を実施します。
全ての面に壁画は完成しないが数面は3月末までに壁画を仕上げる予定としています。
企業と広島市立大学芸術学部が進めている壁画は10月末に第1期面を完成させ2024年3月に全面完成予定です。
建物施設の本格的な運営に向けて、所有者、会、地元住民、他団体と協議を進め運営体制を構築進めています。

